

第6学年 国語科学習指導案

日時 平成26年10月10日(金) 公開授業2
単元名 ぼくたちの美術館を開こう
教材名 「この絵、わたしはこう見る」
児童 男子 7名 女子 4名 計11名
指導者 米内 紀子

- 1 本単元で取り上げる主たる指導事項
B書くこと ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。
- 2 身に付けさせたい力(視点1との関わり)
○事実と感想、意見などを区別して書く力
○絵から読み取ったことや感じたことを簡単に書いたり詳しく書いたりする力
- 3 単元を貫く言語活動とその特徴

単元を貫く言語活動(第5・6学年 言語活動例 Bウ)

絵から自分の読み取ったことや感じたことを、読み手に伝わるように表現を工夫しながら、絵の鑑賞文を書くこと

[設定の理由]

本単元を貫く言語活動として、「自分の読み取ったことや感じたことを、読み手に伝わるように表現を工夫しながら、絵の鑑賞文を書くこと」を位置付けた。鑑賞文には、読み取ったこと(描写)と感じたこと(分析・解釈)を書く。鑑賞文を書くためには、まず、色彩や構図、形、音、においなど、いろいろな視点に基づいて絵を読み取っていかなければならない。そして、読み取ったことから絵を分析、解釈し文章に表していく。その際、読み手によく伝わるように、書き出しを工夫したり、読み取ったことや感じたことを表すのにふさわしい表現を使ったりする必要がある。従って、本単元でねらう「事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること」(B書くことウ)を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

[様式]

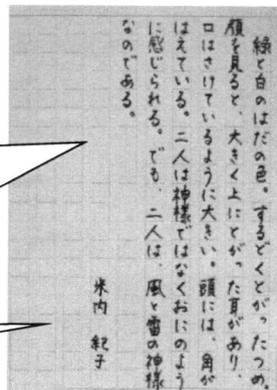
- ・鑑賞文を書いた用紙を絵画の下に貼り付ける。
- ・鑑賞文の字数は100字から200字程度とする。
- ・本単元で児童が書く鑑賞文は、次のような構成をもっている。

読み取ったこと(描写)、感じたこと(分析・解釈)

読み取ったことや感じたことを表す表現、見る場所や見る方法を表す表現を使いながら工夫して書く。

(書くことウ)

名前



書き出し

書き出し例から選び工夫して書く。

(書くことウ)

〔言語活動の系統性〕



4 単元について

(1) 児童について

児童は、6年生「ようこそ、わたしたちの町へ」の学習で、効果的な構成や材料の配置、記述を考えて編集し、学校のよさを伝えるパンフレットを作る学習を行った。この学習を通して、相手や目的に応じて書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理することができた。また、よさを表すのにふさわしい語句を使いながら表現を工夫しようという様子も見られた。しかし、書くことについては個人差があり、伝えたいと思う事物のよさの根拠を明確にできなかったり、事実に対する感想や意見をもてなかったりする児童もいた。

図工や音楽の鑑賞の学習では、対象事物のすばらしさを感じる力・感性がある児童が多い。しかし、それを「すごい」「よかった」という表現で鑑賞を終えており、「ものの見方」のものさしやそれを表現する語彙等が不足している傾向にある。

(2) 教材について

本単元は、絵から読み取ったことや感じたことを文章にまとめる学習をする。その際、分析した事実と個人的な意味づけや問いかけを簡潔に解説的に表現することが求められる。教科書には、作品を見る時の視点、書きだしの例、記述例、読み取ったことや感じたことを表す表現、見る場所や見る方法を表す表現が提示されている。その提示されたさまざまな観点をよりどころとしながら1枚の絵の中に描かれているものを丁寧に読み取ったり、そこから想像を豊かに膨らませたことを表現を工夫しながら文章に書いたりすることのできる教材である。また、交流では、同じ観点に着目しても感じ方やものの見方はさまざまであるという点や全体的にその人らしい意味付けができていく点に着目することで、自分のものの見方を広げるとともに、交流することのよさを実感できる教材である。

(3) 指導にあたって

第1次では、単元を貫く言語活動のモデルを示し、単元のゴールを意識させ、学習の見通しをもたせるとともに意欲を高める。また、前単元「『鳥獣戯画』を読む」の学習を振り返り、「作品を読む着目点」「表現の工夫」について確認したり、教科書の書き出し例、記述例の表現のよさを話し合ったりさせる。

第2次では、教師の選んだ絵の中から自分の書く題材を決定させ、「どうして～だろう」と問いを立てながら、読み取る視点に沿って、読み取ったことや感じたことをメモに書き出し整理させる。「描写と考えの区別」「書き出し」「文末表現」「詳しい記述」などに気を付けながら、100字から200字程度にまとめさせる。アドバイスし合う場を設定し、3～4人のグループで書いた文章を「書き出しの工夫」「表現の工夫」ができていくかという視点で推敲し合う。

第3次では、鑑賞文を読み合い、作品の見方の共通点や相違点、表現の工夫について感想を伝え合い交流させる。書いた鑑賞文は、美術館として絵とともに体育館に掲示し、他学年や保護者にも紹介する。感想用紙を準備し、感想をもらうことで学習の充実感を味わわせる。

5 単元の指導目標と評価規準

- 絵画に興味をもち、ものの見方、表現技法を工夫しながら自分なりに絵画から読み取ったこと、感じたことを伝えようとしている。 【国語への関心・意欲・態度】
- 絵画から読み取ったことや感じたことを事実と感想、意見などを区別するとともに、簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。 【書くこと】
- 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○多面的に見たり、他と比較したりしながら、その事物が紹介するに足るものであることを確かめた上で、そのよさがより多くの人に伝わるように鑑賞文を書こうとしている。	○不特定の相手にもよさが伝わるように、複数の根拠や事例を挙げたり、読み取ったことや感じたことを表すのにふさわしい語句を使ったりしながら、事物を紹介する文章を書いている。 【書ウ】	○文や文章を書く際に、用いた言葉が適切であるかどうかを感じ取りながら書いている。 【伝国イ(カ)】

6 単元の指導計画（全6時間）

次	時	○目標 ・主な学習活動 ☆単元を貫く言語活動につながる学習活動	評価規準
第1次	1・2	○「絵の鑑賞文を書き、美術館を開く」という単元のゴールを知り、学習計画を考えることができる。 ・絵の感想を出し合う。 ・前単元「『鳥獣戯画』を読む」の学習を振り返る。 ・モデルから鑑賞文の構成要素をとらえる。 ・書き出しの例や記述例を読み、表現のよさを話し合う。 ・書き出しや表現の工夫をまとめる。 ・鑑賞文を書くまでの計画を立てる。 ☆学習の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ぼくたちの美術館を開こう。</div>	【関】 読み手に伝わるように読み取ったことや感じたことを表現を工夫しながら鑑賞文を書くにはどうすればよいかを考えている。
第2次	3	○好きな絵を選び、視点に沿って「問い」を立てながら絵を読み取ることができる。 ・好きな絵を選ぶ。 ・問いを立てながら絵から読み取ったことを書く。 ☆好きな絵を選び、読み取ったことを書く。	【書ウ】 不特定の相手にもよさが伝わるように、複数の根拠や事例を挙げたり、読み取ったことや感じたことを表すのにふさわしい語句を使ったりしながら、事物を紹介する文章を書いている。 【伝国イ(カ)】 文や文章を書く際に、用いた言葉が適切であるかどうかを感じ取りながら書いている。
	4	○絵から読み取った事から自分の考えをもち、構成メモを作ることができる。 ・書いた中から鑑賞文に書くことを選んだり、書く順番を考えたりする。 ☆構成メモを作る。	
	5 本時	○書き出しや表現を工夫して、鑑賞文を書くことができる。 ・書き出しや表現の工夫の仕方を確認する。 ・メモをもとに鑑賞文を書く。 ☆鑑賞文を書く。	
第3次	6	○書いたものを読み合い、絵の見方のよさや表現のしかたに着目して交流し合い、もの見方や表現方法を広げることができる。 ・書いた鑑賞文を推敲する。 ・グループで読み合い、感想を伝え合う。 ・全体で交流する。 ・学級での交流後は、体育館に美術館を開き、他学年や保護者に紹介するとともに感想をもらう。 ☆友達と交換して読み合い、感想を交流する。	【関】 友達の書いた文章を読んで、作品の見方や表現の仕方のよさを見つけている。

7 本時の指導

(1) ねらい

読み取ったことや感じたことを表す表現を使い、自分のメモから鑑賞文を書くことができる。

(2) 視点2に関わって

- ・モデルや教科書の作例から読み取った、書き出し、読み取ったことや感じたことを表す表現、見る場所や見る方法を表す表現を確認する。
- ・ワークシートに書き出しや表現の工夫の仕方を示す。

(3) 展開

段階	主な学習活動	留意事項と評価
導入 3分	<p>1 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>読み取ったことや感じたことを表す表現を使い、自分のメモから鑑賞文を書こう。</p> </div>	
展開 35分	<p>2 鑑賞文の書き方を確認する。</p> <p>(1) 書き出しを確認する。</p> <p>(2) 読み取ったことや感じたことを表す表現、見る場所や見る方法を表す表現を確認する。</p> <p>3 鑑賞文を書く。</p> <p>(1) メモをもとに書く。</p> <p>(2) 書いた文章を読み返す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>読み返す視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味をひく書き出しになっているか。 ・文章にあう文末表現になっているか。 ・80字以上150字 </div> <p>4 ペアで鑑賞文を読み合い、交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書き出し、表現の工夫の仕方を確認する。 ・書き出しは書き出し例の中から1つ選ばせる。 ・表現の工夫は、文末の表現を工夫したり、見る場所や見る方法を表す表現を使ったりすることを確認する。 ・前時のメモをもとに鑑賞文を書くことを確認する。 ・書き終えた児童は、2つ目に取り組みさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価】</p> <p>B 読み取ったことや感じたことを表す表現を使い鑑賞文を書いている。</p> <p>支援の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き出しや文末表現の例の中からどれを使うのか選ばせる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・読み返す視点に沿って交流させ、アドバイスし合ったり、表現のよさを紹介し合ったりさせる。
終末 7分	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み返す視点に沿って自己評価させる。 ・次時は完成した鑑賞文を読み合い、全体で交流することを話す。

8 板書計画

ぼくたちの美術館を開こう

書き出しを工夫したり、読み取ったことや感じたことを表す表現を使ったりしながら、自分のメモから鑑賞文を書こう。

① 鑑賞文の書き方を確認する。

〈書き出し〉

〈見る場所や見る方法を表す表現〉

〈読み取ったことや感じたことを表す表現〉

② 書く。

構成メモ

モデル

③ 読み返す。

〈読み返す視点〉

④ 交流する。
⑤ ふりかえり